

令和元年度第3回

地域包括支援センター展勝地

さくらネットミーティング 報 告

令和元年8月8日（木）10:00～
地域密着型特別養護老人ホーム浮牛の里
交流ホール

参加者

- ①介護相談センターふたご
- ②看護小規模多機能居宅介護きずなの森
- ③エスカール在宅介護支援センター
- ④居宅介護支援事業所浮牛の里
- ⑤八天の里在宅介護支援センター

テーマ

- ▶ 本日は包括展勝地圏域内、介護支援専門員のためのグループワーク
 - ：司会、記録包括展勝地職員
 - ①さくらネットミーティングの振り返り
 - ②さくらネットミーティング今後の研修企画・運営について
 - ③現在抱えている問題や悩み

グループワーク

①グループ

▶ さくらネットミーティングの振り返り

○良かった点

- ・ 地域の方の意見、人を知るなど繋がることができた。
- ・ 認知症専門員の話が良かった。
- ・ 地域性があることが知れた。
- ・ 聞いてもらえたという嬉しさがある。
- ・ グループワークのグループのバランス良い感じ。
- ・ いろいろな方の意見が聴ける。視点の違いが広がる。
- ・ 郵便局の見守りサービスは、あまり来られない家族に是非使ってほしい。
- ・ 包括に感謝

▶ ●悪かった点

- ・時間が足りない...
- ・時間が長い...
- ・地域の方は喋りたい→熱い思いを話す場がない？
ファシリが難しく話を切れない。
- ・テーマが大きいためからグループの数が多い。
- ・発表も長くなる。意見まとめる難しさ。
- ・2か月に1回...

▶ 今後の企画・運営について

- ・ 認知症のこと→症状ごとの対応の仕方（具体例で）
- ・ 時間は1時間くらい希望
- ・ テーマをもっと絞ってほしい。
- ・ 時々今日みたいなケアマネだけの集まりがあると良い。
- ・ 医療の話→緊急時対応、症状別対応などケアマネとしてどこまで出来るか「ここからは医療です」を知りたい。
- ・ 家族の対応→本人はこのサービスを利用したいのに、家族は違う意見。

家族の中でも...現実をみれる人、そうでない人、その他のガヤ。

事業所と家族の板挟み

▶ 普段抱える悩みの共有

- ・一人暮らしの方の緊急連絡先が定まっていない。→出なかったり、本人と相手のギャップ
- ・訪問回数が（緊急様態変化など）増えたりして、記録の入力が追い付かない。→記録の課題はみんな同じ！
- ・本人と家族との間のすり合わせに手間取る
- ・本人の意思がはっきりしないケース、本音が解らないと家族の意見だけになってしまう。
→もっと話をよく聞けば良かったのかな...
- ・通院しても、どこも悪くないと診断されるが、サービス事業所からはリスク、不安を訴えられる。
→医師とサービス事業所の板挟み
- ・少しずつ終末期に近づいている方のご家族がそのことを受け入れられない。どのように伝えたらよいか。
言葉の表現。→カンファレンスで医師の話を家族とケアマネと一緒に聞いても、理解・解釈が違う
(ギャップ)。家族は現実として受け入れられない。
本人の状態と家族が思う状態のギャップをどう伝えるか...

▶ ②グループ

▶ さくらネットミーティングの振り返り

- ・ 民生委員さんたちと話しやすくなった。
- ・ いろいろな施設を知ることができた。
- ・ 民生委員さんたちとの会話の糸口となった。今後も継続しいければよい。
- ・ いろいろな方が集まって、多職種の方が来て、会話がうまい方も多く、勉強になった。
- ・ 民生委員さんたちの感想もあったならよかった。
- ・ 自分の考えをまとめるスキルアップにつながる。いろいろな意見が聴けて刺激になりすごく良い。（グループは5~6人だと良い）
- ・ 誰かの意見を聴くことで、自分の考えもまとまる。
- ・ 2か月に1回だとまた来たなと感じるが...（他の会議ケアラボなどの回数も多いので）2か月に1回でちょうど良いかな...

▶ さくらネットミーティングの今後の企画・運営

- ・また来たなと思うが...2か月に1回は良いペース。
- ・つながりができてきたと感じるので、地域の人たちがどのように感じているかで（本音を聞きながら）今後を考えても良いのでは。
- ・住民の方とも交流して話を聴きたい。生の声→あたたかい力を感じる。
- ・独居、交通手段、ひきこもりなど答えは見つからないが、いろいろな気付きになる。
 - 課題をみつけて行政へ繋がること、大きな前進ではないが必ず繋がっている。
- ・ひきこもり、当事者の目線を考えながら、支援を考えて欲しい。みんなで考える機会も欲しい。

▶ 普段抱える悩みの共有

- ・ 誤嚥性肺炎...すぐ退院病院に行くけど戻りたい。
- ・ 食べられない→点滴？胃ろう？何が本人の望み？家族はどう考えている？
家族で共有、早いうちに私の希望ノート
- ・ 本人の気持ちがはっきりわからないまま、次の仕事に追われる...
思いがけないことが発生...時間がない。何を先にすればいいの...
- ・ 透析→本人どう思っている？本人の理解がない方、家族が決めるしかない？本人は身体がしんどい。

ケアマネの役割→気持ちを落ち着かせる。

つなぐ。身内は今までの関係...

今から家族に愛される準備。

▶ ③ グループ

- ▶ 1、さくらネットミーティングの振り返り
 - ・ 会議に参加したいが、できないときがある。
 - ・ 少人数、小グループが話しやすく聴きやすい。
 - ・ 普段接点のない方との交流は良かったが、時間が長い。
 - ・ いろいろな方の意見が聴けて良いが、（企画は〇）盛沢山すぎてもったいない。発表全グループでなくとも良いのでは...
 - ・ 主任ケアマネがファシリテーションしなければならず、負担なところもある。
 - ・ たくさんの方が来てくれて良いが、もっとその方の話を掘り下げて聞きたい。範囲を絞ってほしい。小分けにして欲しい。
- ▶ 2、さくらネットミーティングの今後の企画・運営
 - ・ 焦点を絞って、小グループでお話をしたい。分野を絞ってほしい。アウェーになる方が必ずいる。
 - ・ 会議開催は、給付管理請求後の1時間ぐらいで会議をしてもらえると助かるかな。移動時間も含めて、1時間30分くらい。
 - ・ 高齢者運転、免許返納について話がききたい。

▶ 抱える悩みの共有

- ・複雑（困難ケース）なケースが多すぎて（家族と施設の対立）普段の仕事のができない。
- ・予防（地域のケース）を受けたいが、上からストップがかかってしまった。
- ・予防が増えて、受けてくれる事業所がない。
- ・評判が悪い事業所を家族が利用したいと希望する。（周りが勧めるが、家族は評判を知らない）ケアマネとして、勧めたくない。どうしたら良いか...心が痛む。トラブルあるとケアマネのせいになる...
- ・花巻、奥州地域に住んでいる方の相談を受けても、サービス事業所がわからない。
- ・市町村が違くとサービス事業所がわからない。評判がわからない。
- ・家族がいるのに、家族が何もしてくれない。
- ・事業所内の雰囲気良く、相談しやすい。
- ・デイやショートの子業所が体調不良等の連絡を、直接家族に言わずケアマネから連絡するように言われ困る。
- ・休みの日に個人携帯に家族から電話来る。（1回折り返し電話をしたら登録された）事業所に電話してほしい。

- ▶ ・ 契約前に退院支援やグループホームから戻るなど支援していたのに、契約に繋がらなかった。
きちん

と仕事として、動いているのだから報酬になってほしい。ボランティアが多すぎる。本来の仕事が後回

しになっている。

- ・ 繋ぎの仕事が多すぎる。きちんとしてアセスメントしているのに...
- ・ 負担割合証を集めるのが大変。届け出を出しているのだから、事業所宛に送ってほしい。
- ・ 認定や主治医の意見書が遅すぎる。
- ・ 区変かけているのに結果が3カ月後だったり...
- ・ 調子悪い人のショートを受け入れ先がなく、対応に困る。（家族も介護できなくて）
- ・ 多動や認知症の人の受け入れを渋られる。（寝たきりの人は受け入れてくれるのに）
- ・ 調査員によってひらきがある。

- ▶ ・ さくらネットミーティングで久しぶりに再会した家族に挨拶したら、相談の電話があった。感謝された。
- ・ 連携しても収入にはつながらない。
- ・ 住改も理由書作成しても無報酬。（労力使うのに...）
- ・ 入院中の人の住改、自己負担になりそうになった人がいた。
- ・ 割合証1割→3割。7月末に割合証が来てPトイレ購入を速めればよかった
どんな理由で割合が替わったか知りたい。

